



NEDO事業カタライザー

2022年2月

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）
イノベーション推進部

〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310番ミューザ川崎セントラルタワー（総合受付16F）
TEL：044-520-5170 FAX：044-520-5177 E-mail：inv-caravan@nedo.go.jp

有馬 暁澄

Beyond Next Ventures株式会社
投資部門所属 マネージャー



慶應義塾大学工学部生命情報学科卒業。

卒業後、丸紅株式会社に入社。穀物本部にて、トレーディング事業を通じて生産から販売までのアグリ全般に携わる。また、同社内有志でアグリテックを中心とした投資チームを立ち上げ、スタートアップ投資にも従事。

2019年8月、Beyond Next Ventures株式会社に参画。アグリテック・フードテックなどライフテック全般を中心に投資担当として従事。

また、アグリテックに関する産学官連携エコシステムの構築に向けても邁進。
担当支援先: インテグリカルチャー、リージョナルフィッシュ、SECAI MARCHE、
グランドグリーン

安藤 誠

GOOD-FOUR-WAYS 代表 NISSHA株式会社 社外取締役



1982年大阪大学 基礎工学研究科 情報工学専攻 修士課程修了。

パナソニック株式会社に34年半勤め、米ベンチャー企業や米大手ソフト会社との協業によるデジタルAV製品の商品設計責任者を経て、本社経営企画、社内分社AVC社企画部長、衛星並びにケーブルの端末・センター機器事業の事業部長などを歴任。総務省各種委員会へのパナソニック代表構成員、審議会への報告者などを務めた。

2016年9月のパナソニック退社後、2018年8月まで業務用冷蔵庫メーカーのサンテツ技研で取締役・統括部長(兼)営業部長、2018年3月からNISSHA株式会社の社外取締役として、上場企業のガバナンスに参画(現職)。並行して、2019年1月にGOOD-FOUR-WAYSを開設し、食品製造業、民泊事業、技術者派遣業、総合病院などの事業拡大支援を行なうコンサルティング業を展開(現職)。

事業を通じて社会課題を解決するという理念をもった経営者達に伴走し、一緒に切磋琢磨することで、多くの人材を産み出すことが自国だけでなく世界発展につながると考えて、事業や経営という場での学びを続けたいと思っています。

伊藤 信雄

証券設計株式会社
代表取締役

未来を共に拓きましょう！



【実績】

NEDO支援企業へのVC資金調達成功の実績複数あり。
経営者と共に悩み・考え、解を導き出す支援が信条です。
1995年 日本銀行入行 多数の銀行の立入審査等に従事。2000年 イーバンク銀行(現 楽天銀行)経営企画部長 業界初の独立系オンライン銀行の起ち上げに参画し100億円規模の資金調達を行う。2003年 投資ファンドに移り小売業の企業再生の現場で汗をかいた後、独立。以後、スタートアップの資本政策・M&A・内部管理体制構築を幅広く行い、CFOとして組織管理も行う。業種としては、製造・IT・バイオ・ロボット・AI・コスメ・飲食・金融まで幅広く支援。2015年、ミナトホールディングス(ジャスダック上場、電子デバイスメーカー)の取締役企画担当として増資・M&A・新規事業等を管掌し業績拡大に貢献。2018年退任後、スタートアップ支援に戻り複数の特にシード～アーリー期の企業の戦略策定・実行、大型資金調達、管理体制構築等を支援。常に現場と市場の両方を俯瞰した具体的なアクションを重視。経営者の想いをじっくり伺いながらよりベターな解を共につくっていくサポートを大切にしている。デジタルハリウッド大学客員准教授、(社)日本証券アナリスト協会会員、日本監査役協会会員

【学歴】

1995年 慶応義塾大学経済学部卒業

2008年 一橋大学大学院国際企業戦略研究科修了(金融戦略専攻)

井本 潤一

ニッセイ・キャピタル株式会社 シニアベンチャーキャピタリスト



京都大学大学院工学研究科材料化学専攻修士課程修了。

富士フイルム(株)有機合成化学研究所にて医薬品等の研究開発に従事したのち、Thomson Reutersにて特許・文献情報関連業務に従事。
2015年よりニッセイ・キャピタル(株)にて主に研究開発型ベンチャー企業への投資を担当。投資支援先は20社を超える。

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)や国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)等の事業プロモーターを務める等、積極的なベンチャー支援に取り組む。

岩佐 琢磨

株式会社Shiftall
代表取締役 CEO



2003年からパナソニックにてネット接続型家電の商品企画に従事。

2008年より、ネットワーク接続型家電の開発・販売を行なう株式会社Cerevoを立ち上げ、30種を超える自社開発IoT製品を世界70の国と地域に届けた。

2018年4月、新たにハードウェアを開発・製造・販売する株式会社Shiftallを設立し、代表取締役CEOに就任。
新しいIoT製品を生み出し続けている。

個人活動として、ハードウェアスタートアップへの投資・支援、海外展示会出展アドバイザー、大学講師などを行なう。

潮 尚之

ITPC 代表



シリコンバレー及び東京/大阪を拠点として、北米の有望なベンチャー企業の発掘と日本進出のサポート、オープンイノベーションを推進する日本企業の海外動向調査やベンチャー企業との協業サポートなど、International Business Developmentの専門家として活動中。専門分野はオートモーティブ、セキュリティ、画像処理、センサ/デバイス、AI、IoT、AgFoodTech、InsurTech及びモノづくりなど。

また、Technology Commercializationの専門家として、大阪大学共創機構・特任教授、大阪府立大学研究推進機構・特認教授、山形大学産学官連携推進本部・特任教授、山梨大学研究推進・社会連携機構・客員教授、東京大学TLOアドバイザー、関西大学SFinXプロジェクト・アドバイザー、NEDO事業カタライザー及びJST-START評価委員などを務め、大学発の技術シーズの事業化や大学発ベンチャーの起業を推進するとともに、NEDO-TCP、III未来、Mt. Fujiイノベーションエンジン、けいはんなリサーチコンプレックス、大阪イノベーションハブ及びT-CEPなどの産官学連携プロジェクトのメンター/アドバイザー、川崎市産業振興財団の新事業コーディネーター、品川ビジネスクラブビジネス創出懇談会アドバイザー及びリニアやまなしビジョン最先端企業等誘致アドバイザーなどを担当し、産官学連携の推進や地方の中小企業の新規事業開発や米国進出なども支援。

2006年に独立するまでは、松下電器産業(現パナソニック)において、ITS(高度道路交通システム)をはじめとした様々なビジネス・技術分野でのグローバルな事業開発やアライアンスを推進。米国(シリコンバレー及びプリンストン)駐在時には、ベンチャー企業や大学との技術連携推進の責任者を担当。慶応義塾大学文学部人間科学専攻卒。

大木 美代子

Serend 創業者・プリンシパル



複数の大手IT企業、スタートアップ、インキュベーターなどで事業開発に従事後、2013年1月に独立、Serend社代表として活躍中。アメリカ・アジアのスタートアップ、中小企業、大企業、アカデミア、政府機関などに対して、ITを機軸とした新規事業創出支援を行っている。

また、日本の若者の人材育成にも積極的に関与しており、沖縄のRyukyufrogsプログラムのスペシャルサポーターを長年兼任、日本の大学・大学院での講演やシリコンバレーでの体験学習などの機会も多数提供している。

サンフランシスコ近郊在住。

Serendウェブサイト <http://www.serendinc.com/ja/about/>

LinkedInプロフィール www.linkedin.com/pub/miyoko-oki/1/1bb/500

大矢 将人

凸版印刷株式会社 事業開発本部 戦略投資センター



2000年東京大学大学院工学系研究科修了。

凸版印刷入社。産業資材、医療医薬包材、ディスプレイ用光学部材の研究開発に従事。2010年より、経営企画本部で主に投資評価プロセスの構築・投資管理業務を担当。

現在は、事業開発本部にてベンチャー出資や新事業開発支援に取り組んでいる。2017年に国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)が実施した研究開発型ベンチャーの支援人材を育成する高度専門支援人材育成プログラム「Technology Startup Supporters Academy(SSA)」を修了。

岡田 朋之

WiTricity Corporation, Vice President of Business Development
JABI (Japan America Business Initiatives) 理事
Silicon Valley Alliances (SVA) 共同創始者、ビジネスデベロップメント



日米の大企業やスタートアップ企業をつなぐ、シリコンバレー在住の技術営業コンサルタント及びアドバイザー。

米国モトローラにて携帯電話開発エンジニア、設計開発チームのマネージャーを経て、日本モトローラに赴任。新規R&Dプロジェクトマネージャー、次世代携帯電話技術部長、モトローラジャパンPCS事業部長、モトローラアジアパシフィック バイスプレジデント、モトローラジャパン常務取締役を経て、米国に帰国。

シリコンバレーにて携帯電話OSのスタートアップ、組み込みソフトウェア企業の米国社長兼本社役員やシリコンバレーベンチャー企業の社外取締役を歴任後、ワイヤレス充電、ソフトウェアツール、IoT・HEMSデバイス、EVSEや物流やサービスロボット等の、ビジネスコンサルタントや企業アドバイザーとして活動中。また、ボストンMIT発スタートアップ、ワイトリシティのビジネスデベロップメント担当バイスプレジデントとして、自動運転EVやロボット向け ワイヤレス充電技術の普及活動をしている。専門分野はオートモーティブ、半導体、デバイス、ソフトウェア、IoT、通信、及びモノづくりやサービスビジネスなど。

シリコンバレーを拠点に、日本のスタートアップ及び中小企業の米国進出支援、大企業のグローバルマネジメント支援を行っている。経済産業省委託事業の 始動Next Innovatorメンター、NEDO NEP カタライザー。アリゾナ州立大学電子工学科卒

LinkedIn: <https://www.linkedin.com/in/tom-okada-16044a/> (4300 contacts)

共著: Turning Ideas Into Impact: Insights from 16 Silicon Valley Consultants

小川 育男

スカイライトコンサルティング株式会社



電通国際情報サービスを経て、2004年にスカイライトに参画。
新規事業立上および起業コンサルティングが専門。

大阪大学基礎工学部生物工学科、同文学部哲学科卒。電通国際情報サービスにて、システムエンジニアとして金融、流通サービス、広告などの企業を対象としたネットサービスや業務情報系システムの開発、ミドルウェアを中心とした要素技術や開発手法の研究開発などに従事。

スカイライトコンサルティングでは、事業立上や事業企画のコンサルティングを実施しつつ、2007年からシード投資および投資先の事業・経営支援を実施。
2014年頃からロシア、タイ、シンガポールをはじめとした国外のスタートアップの調査も行っている。

奥 祐介

360ipジャパン株式会社 投資マネージャー



1978年生まれ。東京農工大学工学研究科修了後、日本アジア投資株式会社へ入社。

合計約10年間にわたり、海外(シンガポール、上海)に駐在し、東南アジア、中国、台湾等のヘルスケア、ICT業界を中心に現地ベンチャー企業への投資を担当。

2017年に米国バテル記念研究所等により設立された、技術商業化機関360ipジャパン株式会社へ入社。

ファンド投資事業の立ち上げ・運営及びアクセラレーターを通じた、技術系スタートアップの創出、支援に従事している。

尾崎 典明

エスファクトリー 代表



2004年九州工業大学大学院・工学研究科物質工学専攻修了
同年コンサルティング会社へ入社、中小から大企業に対する新規事業・新商品開発
支援および知財戦略立案等の業務に携わる。

2009年エスファクトリーを創業、企業に加え、地方自治体、NPO、スタートアップに
対しアドバイス等行う傍ら、経済産業省や中小企業基盤整備機構等のコーディネータ、
アドバイザー等を歴任。

また一般社団法人TXアントレプレナーパートナーズではスタートアップに対し実践的
なメンタリング等を行う。およそ17年間に渡り、ものづくりやサービス、業種業態問わ
ずまたその事業ステージによらず、それぞれの企業が有する課題に応じた支援を実
践してきたことから、日本全国に企業や官公庁、地方自治体、大学等、幅広いネット
ワークをもつ。

現在、筑波大学国際産学連携本部産学連携教授、一般社団法人TXアントレプレナー
パートナーズ副代表理事も務める。日本を元気にするため、日々泣いたり笑ったりし
ながらも、全国の現場で志ある起業家の皆さんのお手伝いをしています。愛嬌とフット
ワークの軽さが持ち味です。

片岡 良友

YKファーマコンサルティング 代表



東京大学薬学部卒業後、1978年4月に日本チバガイギー株式会社(現:ノバルティスファーマ株式会社)に入社。その後、日本イーライリリー社、日本オルガノン社(現:MSD社)にて勤務。この間、経営企画、事業開発、マーケティング、新製品企画等の業務に携わった。

2007年8月、名古屋大学発のバイオベンチャーに移り、2008年3月からCEOとして、資金調達、ならびに、グローバル製薬企業、バイオベンチャー、アカデミアとの共同研究契約等を締結し、研究活動を推進した。

2013年9月から、主にバイオベンチャーを対象に、アドバイザー・顧問として、資金調達、ライセンス交渉、マーケティング、研究開発等に関する支援を行ってきた。

その後、2016年11月に早稲田大学発の医療機器開発スタートアップを起業しCEOに就任。2018年1月には熊本大学発の新薬開発系スタートアップを起業し、CEOに就任、現在に至る。

医療機器、医薬品、診断薬などのライフサイエンス領域において、革新的なアイデア、イノベーションの実用化を目指してスタートアップ設立を計画されている起業家の方々に対して、これまでの経験を生かして様々な形で支援したいと思っています。

葛城 禎之

株式会社デフタ・キャピタル 事業推進本部長



1989年に慶応義塾大学経済学部を卒業後、20年以上外資系証券にて外国株式の機関投資家営業に関わり、その後、医療法人で経営全般に携わりました。当社では担当ベンチャーのハンズオン支援として、現在はオブザーバーとして経営会議等に参加し、今後、取締役就任を予定。

外資系証券での株式市場の知識、法人営業としての長年の経験、管理職としてのスキルなどでベンチャー経営や営業にアドバイスを行っています。医療法人では、看護助手として認知症患者の介護にもあたり、さらに、介護老人保健施設(老健)において、事務長についていたため現場経験に基づいて支援できると考えます。

経営全般も見たため、施設運営、医療保険、介護保険、医療現場の人材確保、現状などもつぶさに見てまいりました。

加藤 晴洋

IVF(イノベーティブ・ベンチャ・ファンド)パートナー
AZCA Inc. パートナー



東大大学院(工学系)卒業後NEC入社。コンピュータSEとして勤務後、米国MITスローンスクール留学。帰国後本社企画部で経営戦略スタッフを10年以上従事。その間新事業御立上げ等も経験。

1990年代半ばから米国駐在。そこでNECのCVC立上げや新事業立上げ等を経験。一旦帰国後、事業開発部門でM&Aやスタートアップへの投資を経験。その後再度米国に渡り、シリコンバレーでVC経験(12年)。同時に新事業開発関連のコンサルティングにも従事。

2013年に帰国後、現在のIVFでVC投資に従事する傍ら、東大で起業家教育、NEDOでのSUI等のプログラムでのスタートアップ育成、TEPでのエンジェル投資、等々、日本のベンチャ・エコシステムの様々な局面を経験。投資先スタートアップの取締役も数社兼務。

北澤 順子

ダイアログジャパン 代表



海外の戦略デザインファーム（米国ZIBA, スペインMormedi）にてクリエイティブディレクターを務め、サービスデザイン・戦略デザインコンサルタントとして国内外企業の新製品、新規事業開発、CI及びブランディング等の支援を行ってきた。

ダイアログジャパン代表として、企業の社内ベンチャー事業立ち上げ、スタートアップ企業支援等、数々の新規事業に携わる。
イノベーションワークショップ、新事業開発等の企業研修プログラム開発・講師多数。

2020年より東北大学発ベンチャー・ストーリーライン株式会社CEO
愛知県立芸術大学非常勤講師、東京ファッションテクノロジーラボ講師
2019年 都立高校起業家育成「起業創造ラボ」講師

木立 宜弘

株式会社ボイズクラフト 代表取締役



第一勧業銀行(現みずほ銀行)国内・海外本支店勤務後、三井住友海上キャピタルで大学発スタートアップ中心に約9年間投資活動を行い、2012年ボイズクラフトを設立。主にシード～シリーズA段階の研究開発型スタートアップに対し、「事業と技術の魅力を第三者に正しく、分かり易く伝える」をスローガンに、マイルストーン設計、資本政策策定、提携戦略立案等の支援を行っている。

支援先には、数ヶ月～数年単位のプロジェクトベースで参画するケースが多く、資金調達、M&A、管理部門立上等、40件(社)以上の実績がある。

国際基督教大学(ICU)教養学部卒、慶応義塾大学経営管理研究科(MBA)修了、
日本証券アナリスト協会会員
講演・講義 「テクノロジーベンチャーの資本政策」、「M&Aのプロジェクトマネジメント」、「聴き手に響くピッチ作り」、他

木村 英一郎

江崎グリコ株式会社 経営企画部 事業開発
チームリーダー



【業務内容／実績】

- 技術経営、新規事業の企画、推進／ヘルスケア・健康・栄養領域での新規事業戦略、事業計画、事業基盤整備の実行
- 内閣府総合科学会議事務局としてライフサイエンス分野の政策策定、産学官連携推進
- 新規事業・イノベーション推進基盤・体制の整備／米国オープンイノベーション組織立上げ、研究成果の事業化加速体制構築
- 海外での新規事業立上げ／グローバル生産体制、販売体制構築経験
- M&Aした海外法人のガバナンスとシナジー創出によるPMIの推進／組織風土改革のリーダーシップ
- M&Aによる非連続成長戦略策定／M&Aの実行／ベンチャー投資／VC出資

●主たる職歴

2020年7月～ 現職。新規事業開発

1991年4月～2020年6月 味の素株式会社

企業買収・合併(M&A)業務、ベンチャー投資

研究者180人規模の基礎・先端研究部門所長

米国(サンディエゴ)のバイオ医薬品受託製造子会社で経営メンバーとしてトップマネジメント

再生医療関連新規事業 海外事業立ち上げ業務

北米オープンイノベーション拠点立上げ(米国ニュージャージー州)

スタンフォード大学医学部循環器学科 ポストドクトラルフェロー(米国パロアルト)

内閣府出向 総合科学技術会議事務局(ライフサイエンス分野) 上席科学技術政策調査員として国の科学技術政策の調査・企画・評価

アミノ酸生産技術開発 海外工場技術導入等

木村 忠昭

株式会社アドライト 代表取締役CEO



大学院卒業後、大手監査法人に入社し、株式公開支援業務に従事。2008年、イノベーション共創を手掛ける株式会社アドライトを創業。合わせて国内スタートアップ企業へ社外役員就任によるハンズオン支援を行い、うち5社(ユーグレナ、じげん、クラウドワークス、エスエルディー、マネーフォワード)が上場を果たす。アジアやアメリカの海外スタートアップ企業の支援にも積極的で、これまでに20社以上の投資育成を行いうち3社が買収される。これら国内外スタートアップの知見やネットワークを活かし、大手企業のオープンイノベーションにおける一気通貫での事業化支援を得意とする。主要な国立/私立大学との産学連携プロジェクトの支援実績も豊富。東京大学経済学部経済学科、東京大学大学院経済学研究科修士課程卒業。

熊谷 孝幸

ティーエスアイ株式会社 代表取締役社長



大阪大学大学院博士課程修了。専門分野は光学・物性物理。独立行政法人日本学術振興会特別研究員(DC1)として研究を行いながら、複数の大学発ベンチャーの立ち上げに携わる。

2015年ティーエスアイ株式会社の前身であるテクノロジーシードインキュベーション株式会社に入社。執行役員、取締役を経て2021年11月より代表取締役社長。事業化及び事業成長に従事し、業務内容はベンチャー投資及びハンズオン支援、JSTのSTART事業プロモーター、NEDOの事業カタライザー、大手企業とベンチャーのマッチング、M&Aアドバイザー、資金調達支援。また、株式会社JAVIS Venturesの代表取締役としてベトナムを始めとする東南アジアのベンチャー企業への投資育成を行っている。

栗島 祐介

プロトスター株式会社 取締役CCO



早稲田大学商学部卒業後、三菱UFJ投信に入社しトレーダー・ファンドマネジャーを経験。

その後、アジア・ヨーロッパにおいて教育領域特化型のシード投資を行う株式会社VilingベンチャーパートナーズCEOを経て、起業家支援インフラを創るプロトスター株式会社(旧スパノバ株式会社)を設立。

数多の起業家やクリエイターコミュニティに強い関心を持ち、起業家輩出及び起業家育成エコシステム作りに邁進。

産業構造・技術構造的にHardな領域を主軸に新産業創出を目指す起業家支援コミュニティ「StarBurst(旧Supernova)」の企画・運営総括を行う。

その他複数社に社外取締役・アドバイザーとして関与。東京ファッションテクノロジーラボ理事やTMCNエヴェンジェリストも務める。

桑原 優樹

JICベンチャー・グロース・インベストメンツ株式会社 プリンシパル



2012年、日本総合研究所に入社。通信・メディア・ハイテク産業等における事業戦略策定・研究開発戦略策定・新規事業創出などに関するコンサルティング業務に従事したほか、国の研究開発型ベンチャー支援プログラムの運営にも従事。
2018年、産業革新機構(現INCJ)入社、スタートアップへの投資や大企業との共同投資による新会社の設立などのベンチャー・グロース投資および投資先のバリューアップに携わる。2020年8月よりJICベンチャー・グロース・インベストメンツに参画。

東京大学大学院理学系研究科物理学専攻修了

技術を起点として新しい事業を創り出そうとするスタートアップの皆様をご支援出来ればと考えています。

小駒 皆子

株式会社マルチタスク・カンパニー 代表取締役社長兼CEO(1995年から現在)



頌栄女子学院英語短大卒業後、銀座ソニービルショウルーム勤務中、留学費用を貯め、80年に米国コネチカット州立大学にて、Information Systemsを卒業。

82年よりソニーアメリカのカスタマーインフォメーションセンター現地採用。夕方にコロンビア大学院に通う。1985年中退し、ソニーアメリカも退職し、パリにて2年間国際交流NPOの一員として従事。

1987年に帰国し1992年までゴールドマンサックス証券会社Information Systems部のPVとして勤務。1993年から1995年NY本社赴任。

1995年、父から(株)マルチタスク・カンパニーの代取として就任し現在に至る。その間、米国・イスラエル等の海外技術Seedsの日本事業・組織開発や、日本企業の国内・海外事業・組織開発をサポート。

また、シミックグループ人事担当役員、子会社代取、米国企業ERT社の日本法人代取、アイロムグループ監査等委員取締役等の兼務。IRB委員13年目。

“技術・事業・人財シーズを併せて素晴らしい会社に育てるのが生きがいです！”。

古島 一博

株式会社テラユナイテッド 代表取締役社長



【略歴・実績】

1974年 関西大学工学部電子工学科卒業

同 松下電器産業株式会社(現パナソニック)入社

32年間 一貫して「半導体」及び「電子部品」の営業・マーケティング部門で勤務し、責任者を歴任。自身が関係して開発された世界シェアトップの商品(車載用スピーカ、光半導体、携帯電話用GaAsパワーアンプモジュール、DVD用システムLSI等)や高占有率を取った商品が多数あり、半導体・電子部品分野で日本の大手電機メーカーや世界の電機メーカーとコンタクトし、韓国・中国の黎明発展期、台湾・香港・シンガポールの発展期、欧米の技術発展期を肌で感じてきました。

2006年 松下電器を退職し、デジタルテレビソフトウェア開発の株式会社ゼンテック・テクノロジー・ジャパンに入社し、執行役員を務める。

2007年 非常勤国家公務員で法務省管轄の「保護司」となる、現在(2020年)は、(京都府)宇治地区保護司会 副会長を務め、犯罪を犯した人の更生保護の仕事にボランティアとして従事。

2009年 ゼンテックを退社して、電子機器開発コンサルティング会社「株式会社テラユナイテッド」を東京で設立し、取締役役に就任。

2015年 これからのエレクトロニクス分野の優れた人材育成のため「楽々電子塾」を京都府宇治市に設立(テラユナイテッドと兼務)。塾長に就任。楽々電子塾は現在28名の塾生。

<http://elecwon.com>

2017年 「株式会社テラユナイテッド」を京都府宇治市に移転。代表取締役社長に就任。

<http://terra-united.co.jp>

2020年 現在に至る

【自己PR】

小学生のころから、電子工学分野に興味を持ち、世界のエレクトロニクスの発展と共に過ごしてきました。その間、多くの電機メーカーと交流する中で、驚異的な発展を遂げた半導体や電子部品分野の知識や経験を蓄えてきました。今、その経験を活かし、小学生から世界で通用する技術者を育成したいと奔走しています。最新技術(AIやIoT/5G等)についても、常に追従できるように日々研鑽に努めています。

近藤 晋

株式会社日本能率協会コンサルティング
R&Dコンサルティング事業本部 本部長
技術戦略センター センター長
シニア・コンサルタント



【略歴】

日本大学大学院理工学研究科機械工学専攻 修了
慶應義塾大学大学院経営管理研究科 修了
東京大学大学院工学研究科 MOTコース 単位認定

大成建設株式会社の機械部門を経て、株式会社日本能率協会コンサルティングに入社、現在に至る。NEDO SSAフェロー

【実績】

「事業成果につながる技術戦略の策定」をメインテーマとして、「技術棚卸」、「技術評価とコア技術設定」、「コア技術を起点とした中長期の技術・事業開発計画の策定」等のコンサルティングを自動車、機械、電機、精密、素材系企業など様々な業界で実施。また研究開発成果を起点とした新事業創出のコンサルティングについても多くの実績がある。

また、技術商業化のためのアクセラレーター“ACAT LLC”の運営も行っており、自身もスタートアップの立上げ及び運営を行っている。

【著書・論文】

「コア技術を活用した新規事業テーマの発掘、進め方」、株式会社技術情報協会、2018年(共著)
「技術の用途開発 ～テクノロジー・プッシュ型の新事業創造に関する研究～」第59回全国能率大会 表彰論文、2007年 他

【自己PR】

「あらゆる“技術”と“社会課題”を繋げる」を信条にこれまで様々な企業様のお手伝いをしてきました。優れた技術シーズを保有する皆様のご活躍が日本経済活性化のキーになると考えています。共に悩み、意見を戦わせ、新たな事業を成功させるご支援をさせて頂きたいと思っております。宜しくお願い致します。

坂本 教晃

株式会社東京大学エッジキャピタル 取締役・パートナー



【PROFILE】

経済産業省では、中小企業金融円滑化関連法案や家電リサイクル法の法案作成業務や未踏ソフトウェアプロジェクトに従事。退官後、アパレル流通のファミリービジネスに参画し、新規事業立上げ及び事業整理を実施。

McKinsey&Company では、日本・東南アジア・欧州を中心に製薬、医療機器、自動車、ハイテク、消費財、金融機関等の業界各社に対し、営業・マーケティング、SCM、M&Aに関するプロジェクトに従事。

2014年度総務省 I-Challenge! や、2015年 NEDO TCP の最優秀賞及び優秀賞採択案件、2016年 経済産業省 IoT Lab Selection グランプリ案件をサポート。アントレプレナーシップ・チャレンジ2017において最優秀賞をサポート。

【CAREER】

東京大学経済学部卒業後、経済産業省入省。2008年経済産業省退官、流通事業会社の副社長を経て、コロンビア大学経営学修士(MBA)。McKinsey&Company のエンゲージメントマネージャーを経て、2014年8月にUTEC参画。

櫻井 政考

東京都立大学 総務部 特命担当部長
東京都健康長寿医療センター 健康長寿イノベーションセンター
特命担当部長



1990年 一橋大学経済学部卒、三井信託銀行入社（投融資、本部企画）
2001年～2010年 投資銀行業務（官民ベンチャーキャピタルに所属）
投融資、M&A、社内ベンチャー起業、経営コンサルティング等
2011年 首都大学東京（現東京都立大学）入社
研究推進部長・産学公連携センター副センター長
2017年 東京都立産業技術研究センター出向 IoT担当部長
2019年 東京都健康長寿医療センター出向 産学連携担当部長（現任）

信託銀行、ベンチャーキャピタルにて20年間、投融資、M&A、ベンチャー起業、知財コンサルティング等を経験し、2011年より大学幹部に転身。2017年、2018年東京都の「中小企業のIoT化支援事業」のプログラムマネージャー。2019年より高齢者医療・研究に特化した東京都健康長寿医療センターにて東京都の「認知症未来社会創造研究センター」事業の産学連携統括（現任）。専門は、ベンチャー・中小企業のハンズオン投資支援、大学・研究機関等のプロジェクトマネジメント。ベンチャー企業社外役員、経済産業省、特許庁等での講師、委員等多数。

ベンチャー・中小企業は大企業と違い、社内リソースは無いもの尽くしです。優れたベンチャー経営者には、世界レベルの研究者社長、KKD（経験・勘・度胸）による成功体験を持つオーナー社長、朝令暮改を旨とするワンマン社長など実に個性的なタイプが多く、このような経営者に一目おいていただき話をするには、専門知識や経験・ノウハウにおいて一つや二つの専門領域があるだけでは話になりません。数多の企業の栄枯盛衰を、投資家の視点で俯瞰的に見てきた経験を生かし、効率的な経営アドバイスに努めます。直近では、東京都の「中小企業のIoT化支援事業」の事業企画から立上げまでを担当、現在は認知症研究の高度化・IoT/AI活用のためのプロジェクト創設、プロマネを主導。

（一社）エグゼクティブコーチング協会認定ビジネスコーチ、認知症ケア指導管理士。

佐藤 大樹

フリクエンシーラボ株式会社



2003 大学を卒業後、株式会社ドワンゴに入社、在籍中にエンジニアオブザイヤーや特許貢献など表彰多数

2006 ウノウ株式会社に入社、システム開発の傍ら、Software DesignやWEB+DB Press等に技術記事を寄稿

2008 株式会社アドクラウドを設立、代表取締役役に就任

2012 株式会社オウルデータを設立、代表取締役CTOに就任

2014 株式会社サイバーエージェントが株式会社オウルデータの株式を取得し完全子会社化

2015 GMOアドパートナーズグループが株式会社アドクラウドの株式を取得し完全子会社化

2016 買収先のGMOアドマーケティングにて取締役CTOに就任(2020/03月末に退任)

2016 フリクエンシーラボ株式会社を設立 代表取締役役に就任(現任)

2020 経済産業省 国立研究開発法人新エネルギー産業技術総合開発機構よりSSAフェロー認定

現在は量子関連技術の研究開発、Tech系ベンチャーに複数社エンジェル出資、アドバイザーや技術顧問、POC、技術系大学初ベンチャーや社内ベンチャーの立ち上げ支援を行っています。

清水 仁司

ポラリス合同会社 代表社員



大手非鉄金属メーカーにて超電導材料・応用機器の研究開発、生産技術、品質保証、製造、営業技術、マーケティング、技術・事業企画など、製造業における主要な業務に従事。高温超電導材料の発見を身近に体験したり、CERNのLHC(加速器)やITER(核融合)など大型国際プロジェクト対応を主導した。

現在はものづくり企業の経営コンサルティングを主業務として、慶応藤沢イノベーションビレッジと横浜市産学共同研究センターのインキュベーションマネージャーも務める。また、スピンアウトベンチャー発掘から事業化への支援にも取り組んでいる。

2018年度国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)が実施した研究開発型ベンチャーの支援人材を育成する高度専門支援人材育成プログラム「Technology Startup Supporters Academy(SSA)」を修了。

資格等： 中小企業診断士
NEDO SSAフェロー
JBIA認定インキュベーション・マネージャー

進藤 圭

ディップ株式会社 執行役員 商品開発本部 次世代事業統括部長



早稲田大学を7年かけ卒業後、ディップに新卒入社。営業職、ディレクター職を経て、開始後3年で15億円の売上に成長した看護師人材紹介「ナースではたらこ」事業化をはじめとし、40件以上のサービス企画に参加。直近では「FAST RPA コボット」を提供するAI/RPA事業がある。

現在は新規事業責任者、「聖地巡礼マップ (<https://seichimap.jp/>)」、人工知能ニュース「AINOW (<https://ainow.ai/>)」、スタートアップニュース「StartUpTimes (<http://startuptimes.jp/>)」チームを担当。

アクセラレーターでは「AI.Accelator」「HR-HackFund」「Gakucelator」「受託アクセラレーター」を運営、Google for Startups Accelerator mentor、「ASAC」青山スタートアップアクセラレーター、「OIH」大阪イノベーションハブメンター、「kansAI0.6」関西AIアクセラレーターメンター。

また投資担当として年間15社程度の投資を担当。投資先はhachidori、GAUSS、JOLLYGOOD、Marketing-Robotics、Apparray、キャスター、コグニティ、Amplified.ai、Tsunagu.ai、Foxsy、Oceans、Tutorial、Lightblue Technology、ウリドキネット、Trunk、MILIZE、ポリグロツツ、アントワークス、ブレイブソフトなど。文科系な活動ではTBSラジオ「好奇心家族」ニュース解説者、「いちばんやさしいRPAの教本」(<http://amzn.asia/d/9XwDhrC>)を出版。

瀬川 秀樹

クリエイブル 代表



(株)リコーに長年勤め、光ディスクのフォトリソグラフィー技術者、光ディスクの国際標準化委員会(ISO)の日本代表団メンバー、技術企画、シリコンバレーにおけるCVC(Corporate Venture Capital)と新規事業の立ち上げ／撤退、新規事業開発センター副所長、未来技術総合研究センター所長などを歴任。
また、BOP(Base of the Pyramid(世界の貧困層))の project を立ち上げ、インドの農村部での活動も行ってきた。
常に新しいコトや多くの新規事業の立ち上げに挑戦し続けた。

2014年に(株)リコーを早期退職し、「新規事業のメンタリング」「若手育成」などを行う Creable(クリエイブル)を開設。多くのメンタリング・講演・研修・ワークショップ等を行っている。
イノベーションをキーワードにした4コマ漫画やコラムなどの執筆も行なっている。

世良 信一郎

株式会社イーフープ 代表取締役



上智大学法学部法律学科卒業後、大手特許事務所にて特許から商標まで知財全般を経験し、ベンチャー企業を対象とした知財コンサルティングに従事。

独立後は、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス(SFC)、デジタルハリウッド、独立行政法人中小企業基盤整備機構、経産省の新事業創出のための目利き・支援人材育成等事業、神奈川県のかながわ成長産業イノベーション事業、NEDOカタライザーにて大学発ベンチャーをはじめとしたIT系、技術系ベンチャー企業を多数支援している。直近では、ロボットベンチャー、まちづくり会社の新規事業立ち上げにも関わっている。

新規事業立ち上げ、知財戦略、資金調達／クラウドファンディング、まちづくり／地域活性に関する支援を得意としている。

世良 伸也

A-Z Business Support 代表



1989年～2000年 三井信託銀行(現・三井住友信託銀行)
融資先と長期事業計画策定に協力、融資・協力会社斡旋等を多数経験。

2002年～2016年 コスモ・バイオ(株)(証券コード3386)
2003年より上場準備、中長期計画策定、資金調達、資本政策、内部管理体制整備、上場関係書類全編執筆、機関投資家向け説明会主管。
2005年ジャスダック市場上場。
上場後は株式分割・立会外分売等の資本政策主管、会社法・金融商品取引法・取引所規則への対処、投資家IR担当。M&A、事業投資主管。

2008年より財務部長として子会社を含むすべての経理処理承認、予算管理、金融機関対応の責任者。事業投資先の探索、調査と審査、実施。投資家向け開示資料作成、株主総会主管。税務において国税局と見解の相違折衝、双方納得で決着。

2014年より取締役総務部長、財務・システム統括。
法務(薬事法、下請法、雇用関連法等)担当者兼責任者として対応。専任者を育成。
就業規則、人事制度、社員教育制度見直し。施設管理、オフィスフル改装(約600坪)・アメニティー整備等を主幹。安定株主作りを実施。新規の法人株主(4社)勧誘・折衝主管。
社外取締役・社外監査役招聘の折衝・契約実務。システム部担当役員として、基幹システムSAP導入責任者、2016年10月健康上の理由により退任、以後治療に専念。
2019年治癒。

曾我 弘

株式会社カピオン 代表取締役



静岡大学工学部卒業、東京大学工学博士

新日鉄退社後、1991年にシリコンバレーに移住。画像圧縮技術開発のベンチャー企業 Eidesign Technologies, Inc. を設立、経営。1996年に Spruce Technologies, Inc. を設立。

DVDオーサリングシステムを開発・商品化し、今日のDVD普及の一翼を担う。旗艦商品「DVDMaestro」はディズニーに採用されハリウッドでのデファクト標準になり、大手企業の顧客を獲得した。最終的に、同社をApple Computerへ売却。

2010年に帰国後、日米間のオープンイノベーションを目指し活動中。東北大学と共同事業化の市場調査のためシリコンバレーにBlue Jay Energy, Inc. を吉川絵美と共同で設立。現在は日本大手企業と共同でインドネシアでの事業化を検討中。

2011年から能登左知氏と(株)カピオン(<http://www.kapion.net>)を起業し、現在はNEDO支援の起業家を中心に幅広く、東京大学、慶応大学大学院等でシリコンバレー流起業手法による研修とメンタリング活動を実施。21C クラブメンバー。

著書「新版シリコンバレー流起業入門」(同友館2013)

著書「新版シリコンバレー流CXOチームビルディング」(同友館2015)

高松 孝行

ブランシェ国際知的財産事務所 共同代表弁理士



東京工業大学大学院理工学研究科 原子核工学専攻修士課程卒業
一橋大学大学院国際企業戦略研究科専攻 知的財産コース修士課程卒業

2015年～ ブランシェ国際知的財産事務所開設

2010年～2015年 独立行政法人産業技術総合研究所(現国立研究開発法人産業技術総合研究所)

2007年～2010年 財団法人日本産業技術振興協会 産総研イノベーションズ(経済産業省認定TLO)

国内外における特許、実用新案、意匠、商標に関する権利化だけでなく、ライセンス契約や知的財産権侵害訴訟等の業務を行ってきました。特に、公的研究機関に所属していた際には、ライセンス契約や共同研究契約等の知的財産に関する契約を1000件以上担当した経験を有しています。

そして、数多くの企業様とのお付き合いを通じて、ビジネスを成功させるための知的財産の活用方法を自分なりに理解してきました。これらの経験を活かして、起業家やスタートアップ企業を支援して行きたいと思っております(近年は、特に医療機器開発企業やIT企業へのサポートに力を入れています)。

竹内 裕明

先端起業科学研究所 所長 イノベーション・エディター

関西学院大学法学部法律学科卒業



【実績(職歴を含む)】

- 株式会社ホロニック多摩
 - ※知的所有権担保等、新規事業向けファイナンス商品開発
 - ※通信事業、不動産事業等の新規商品開発、新規市場開拓
- 志太起業研究所(シダックス)主任研究員/志太起業塾(運営及び講師)志太ファンド(投資・ハンズオン)
- 株式会社生体分子計測研究所 監査役(現任)
- 大阪市立大学工学部「応用情報」/同大学院「グローバル経営論」
- 阪南大学経済学部「起業塾」非常勤講師(現任)

【最近の支援案件】

- ・医療機器、福祉機器開発、検査試薬開発
- ・環境緑化・植物工場・再生エネルギー技術・バイオマス発電等。
- ・モビリティサービス、画像処理関連技術、食品検査事業、他。
- ・コミュニティビジネスの再生、アーティスト育成。

【主な著書】

「利益を生み出す「売上計画」達成のシナリオ かんき出版

「事業計画がしっかり作れる本」かんき出版

学生時代より、新規事業開発に関わり、現在まで一貫して新規事業立ち上げ、新商品開発の仕事に携わってまいりました。先端起業科学研究所を立ち上げ、シーズからの創業から上場企業の新規事業立ち上げ、新商品開発までスタートアップフェーズを専門に幅広い分野を支援してまいりました。特にマーケットが未成熟な分野での事業計画立案を得意とし、特定分野にとらわれず、分野を跨いで事業を編集するお手伝いをしております。よろしくお願いいたします。

辰野 博一

合同会社タツノ経営デザイン代表社員
早稲田大学リサーチイノベーションセンター
アントレプレナーシップセクション シニアコンサルタント



2002年京都大学大学院エネルギー科学研究科終了後、松下電工株式会社(現パナソニック株式会社アプライアンス社)入社、オーラルケア商品の商品企画・マーケティング業務に従事。

2013年9月に退社し、早稲田大学大学院商学研究科にて中小製造業の技術経営、自社製品開発に関する研究活動を経て独立。

2016年4月より早稲田大学リサーチイノベーションセンターインキュベーション部門(現アントレプレナーシップセクション)にて、大学での研究成果事業化のための教員・学生の創業支援や、大学発ベンチャー企業の事業支援(現職)。

2017年4月から2020年3月までかわさき新産業創造センター(KBIC)にてインキュベーションマネージャーを務め、研究開発型ベンチャー企業の事業支援。

2020年、専修大学経営学部兼任講師(科目名「デザインと経営」)に就任。また、中小企業診断士として、新商品・新事業企画の開発支援、マーケティング支援、デザインマネジメント導入支援を中心に、中小・ベンチャー企業の経営支援に従事。

技術系ベンチャー企業が持つ優れた技術の事業化に向けて、マーケティング視点に立った市場機会の探索・発見、事業コンセプトの設定などの様々な課題を、起業家と一緒に考えていきたいと思っています。

田所 雅之

ベーシック チーフストラテジーオフィサー ユニコーンファーム CEO



これまで日本と米国シリコンバレーで合計5社を起業してきたリアルアントレプレナー。
米国シリコンバレーのベンチャーキャピタルのベンチャーパートナーを務めた。

Pioneers Asiaというグローバルスタートアップイベントのスタートアップ責任者を務める
など、これまで2000社以上の世界中のスタートアップを評価してきた。
現在は、国内外のスタートアップ数社の戦略アドバイザーやボードメンバーを務めなが
ら、日本最大級のウェブマーケティング会社 ベーシックのChief Strategic Officer、事業
創造会社のブルーマリンパートナーズのChief Strategic Officerも務める。

2017年にスタートアップ支援会社であるUnicorn Farm を立ち上げた。
世界で累計7万シェアされたスライド“Startup Science”、発売後、3部門(経営、起業、
イノベーション)で80週連続ベストセラー1位になった書籍“起業の科学 スタートアップ
サイエンス”の著者である。

田辺 英二

株式会社エーイーティー 代表取締役会長



1968年、静岡大学工学部卒業。

1975年、米国デューク大学大学院博士課程終了後、シリコンバレーのバリアン社とスタンフォード大学との産学連携プロジェクト”Hyperthermia”及び“超小型マイクロ波加速器開発”に従事。

1978年、バリアン社マイクロ波研究室マネージャーに就任、マイクロ波の医療応用及び工業応用の開発責任者として電子加速器、マイクロ波装置、放射線装置の開発に従事。

1986年、シリコンバレーにAET Associates Inc. を設立、Presidentに就任。

1988年、川崎市に株式会社エー・イー・ティー・ジャパン(現:株式会社エーイーティー)を設立、代表取締役社長に就任。

2001年、東京工業大学原子炉工学研究所講師に就任。

2002年、東京大学大学院工学研究部門非常勤講師に就任。

2005年、株式会社アキュセラを設立、代表取締役に就任。

2021年、株式会社エーイーティーの代表取締役会長に就任。

電磁波、マイクロ波、光、プラズマ、荷電粒子、X線応用に関するソフトウェアとハードウェアの技術を中心に、通信、医療等の分野において新製品の開発、製造、販売、輸出入、サービス事業の展開を行うと共に、東京大学大学院にて教育、開発に取り組みながら日米における先端技術のビジネス経験を基に、国際的に産学連携とベンチャー育成を推進している。また、がんの高精度集学治療とセカンドオピニオンのNPO活動を行っている。

丹治 幹雄

株式会社デフタ・キャピタル 取締役



1977年東京大学法学部を卒業後、日本長期信用銀行にて銀行員として海外赴任も含め様々な経験を積む。

当社入社後、大阪大学発ベンチャー、クオリプス社の立ち上げを主導し、その後、事業会社からの出資を無事完了させた。

現在、当社がGPを務めるファンドのファンドレイズに最初から携わり、最終的にUSD62百万の出資を得て、クローズすることとなった。現在は、当ファンドのジェネラルマネージャー兼投資運営委員であり、投資運営委員会を主宰し、投資検討を行うほか、日米の出資先ベンチャーの取締役、監査役を複数勤めている。

法務博士であり、これまでの経営者としての知見もあわせ、取締役会を通じてベンチャーの経営指導および事業戦略の策定などに当たる。

辻川 大

JICベンチャー・グロース・インベストメンツ株式会社 プリンシパル



略歴(主に学歴)

1992.3 大阪大学基礎工学部機械工学科卒業

2001.3 慶応義塾大学大学院経営管理研究科(MBA)修了

実績(職歴を含む)

1992.4～1999.2 株式会社東芝(交通事業部にて研究、開発、設計、生産企画)

2001.6～2004.8 GE横河メディカルシステム株式会社(現GEヘルスケア・ジャパン。経理部門にて製造・技術・調達部門のファイナンシャル・アナリスト)

2004.9～2019.4 三井住友海上キャピタル株式会社(ベンチャー投資部門にてパートナー)

2019.5～2020.8 新生キャピタルパートナーズ株式会社(ベンチャー投資部門にてパートナー)

2020.9～現在 JICベンチャー・グロース・インベストメンツ株式会社(ベンチャー投資部門にてプリンシパル)

心情を含めてPR

モノづくり企業の開発から経営、経理といった幅広い業務経験と、大学院でのイノベーション研究の経験を経て、ベンチャーキャピタリストとしては、モノづくり、バイオ、IT等、テクノロジー・ベンチャーを中心に幅広い領域への投資を実施。リード・ハンズオン投資に多く関わったことで多くの起業家を支援してきました。今後も、イノベーションで世界を変えたいという志の高い起業家のお役に立てればと考えています。

津嶋 辰郎

株式会社INDEE Japan 代表取締役 マネージングディレクター



大阪府立大学航空宇宙工学修士。

小学校時代に少年剣士として日本一を達成。大学時には人力飛行機チームを創設し、鳥人間コンテストでは2度の優勝と日本記録樹立を果たす。その後、レーシングカーコンストラクターである童夢に参画し空カデザイナーとしてシリーズチャンピオンを獲得。半導体製造装置ベンチャーのスタートアップメンバーとして事業立ち上げを先導の後、iTiDコンサルティングに入社。国内大手メーカーの新規事業立ち上げ支援、新製品開発支援など多数実績を持つ。

現在はイノベーションコンサルティング、新規事業立ち上げを専門とする技術の分かる事業家集団INDEE Japan (<http://www.indee-jp.com/>)を設立し、昨今は様々な新技術を活用したロボット、メディカル・ヘルスケア、エネルギー、IoTなど幅広い分野での事業アクセラレーションを行っている。

INDEE Japanは世界的なイノベーションの権威であるクレイトン・クリステンセン教授設立のINNOSIGHT (<http://www.innosight.com/>)の日本唯一のパートナーでもある。不確実性の高い事業立ち上げプロセスを極めて分かり易い体系で伝えるだけでなく、それに不可欠なマインドセット、哲学および当事者の思いを重視するスタイル。理論はあくまで共通言語、実践こそが価値を生み出すと考える、自らもゼロイチの世界に最大の価値を感じる起業家である。

津田 真吾

株式会社インディージャパン
代表取締役テクニカルディレクター
INDEE Singapore Pte. 取締役



日本IBMの社内ベンチャーであるハードディスクの研究開発に携わり、パソコン黎明期をエンジニアとして過ごす。取得特許は18件で、電気・制御・ソフトウェア・機械設計など多岐にわたる。コンサルティングを経て“新規事業の特殊部隊”であるINDEE Japanを2011年に共同創業。

ハーバード大クリステンセン設立のイノサイトと提携、破壊的イノベーションの理論を実践する。以来、社内ベンチャー支援、イノベーションコンサルティングとスタートアップのアクセラレーションプログラムを手掛ける。

例えば、皮膚再生技術をベースとした INDEE Medical社の創業に携わり、取締役としてエグジットまで導いた。

クリステンセン教授の著作『ジョブ理論』の日本語版解説、『「ジョブ理論」完全理解読本』の執筆、ベストセラー『巻き込む力』の翻訳なども手がける。

幼少期を7年間デトロイトで過ごし、IBM時代もシリコンバレーに1年間過ごす英語ネイティブ。早大理工学部卒。3児の父。
グローバル×ハードなスタートアップをフルハンズオンでサポートするのが信条。

照沼 大

日本ベンチャーキャピタル株式会社(NVCC)
常務執行役員 兼 ベンチャーキャピタリスト
北九州市顧問



アンダーセン コンサルティング(現:アクセンチュア)、株式会社プレステージ・インターナショナルを経て、1998年当社入社。

企業向けソフトウェア関連と通信関連のSEのバックグラウンドを活かして、ソフトウェア、ICT、インターネット、モバイル関連のサービス、製造業関連を主要領域に、アーリーステージ中心の投資を行う。

基幹ファンドのジェネラルファンドの他に、「名古屋大学・東海地区大学ファンド」「京大ファンド」「阪大ファンド」「ATRファンド」をはじめとする多数のアカデミア・ファンドの運用経験と、多数の大手企業のバックアップを受けている基盤を活かし、「スタートアップ×アカデミア×大手企業」の三位一体でのオープンイノベーションの媒介役を標榜。幼少期を過ごした北九州市の顧問も務める。

友永 哲夫

Japan Products, Executive Partner
Japan America Business Initiatives, Board Member
一般社団法人 販路同友会 マスターコーディネーター
シリコンバレー関西ラボ 創設者
神戸ベンチャー研究会
Japan Bio Community



神戸大学大学院理学研究科修了後、ミノルタ(現コニカミノルタ)に入社。アメリカ7年、ヨーロッパ5年間で新事業開発を行い、帰国後は新事業開発部の設立、経営企画部で立ち上げた映像制作会社、ソフト開発会社などの資金調達や、アメリカのベンチャーへの出資など行った。

1998年からシリコンバレーを拠点とし、共同開発を中心に業務提携など協業を行った。Japan Productsでメディアとして海外に情報発信し、Japan America Business Initiatives, 独) 中小企業基盤整備機構、一法) 販路同友会、NEDO NEP カタライザーなどで、クリーンテックや光学、IT分野の国際会議の議長を務めた専門分野のみならず、医療機器、バイオ、フードテックなどの多方面の分野にて、多様なネットワークと30年以上の豊富な海外経験、職務経験から経営者の育成と、日米のスタートアップの事業展開の支援を行っている。

共著: Encyclopedia of Biometrics

LinkedIn :<https://www.linkedin.com/in/ted-tomonaga-2581a8/> (約2,100人)

Facebook: <https://www.facebook.com/ted.tomonaga> (約3,300人)

中井 友昭

株式会社 eftax 代表取締役



2003年東京大学文学部卒。NEDO・SSAフェロー。

事業会社にて経営企画・総務に従事した後、2011年に税理士荒巻政文事務所に入所。2013年株式会社eftaxを設立し、企業のAI・IoT・データ分析の受託開発事業をスタート。企業のマーケティングデータ分析や、画像処理、自然言語処理のAIエンジン開発など、さまざまなプロジェクトマネジメントを経験。

2018年4月からは大阪市内にコワーキングスペースを開設し、起業家向けセミナーなどを毎月企画・開催し、さまざまな専門家とのネットワークを有する。総務、財務、会計・税務から、AI、IoT、ソフトウェア開発まで幅広い経験を有し、スタートアップが会社立ち上げ時に最初にぶつかるさまざまな問題について、アドバイスが可能です。また自身でアドバイスできない分野でも、多様な人材のネットワークを通じ、適任者とマッチングすることもできます。

関西圏において、スタートアップエコシステムの構築に少しでも貢献できればと考えています。

長江 義和

イノバクセル合同会社 代表社員



【略歴】

1997年京都大学薬学部卒、1999年京都大学薬学研究科 創薬化学専攻修了(MSc.)、
2007年早稲田大学大学院アジア太平洋研究科 国際経営学専攻修了(MBA in
technology management)
薬剤師

1999年万有製薬(株)つくば研究所にて創薬研究に従事し、メディシナルケミストとして
新規医薬候補化合物の創出に貢献。

2006年よりイノベーション・エンジン(株)にてライフサイエンス・ヘルスケア担当キャピタ
リストとして創薬技術、医療サービス等のスタートアップ支援に従事。

2009年にコンサルタントとして独立後、2010年日系HBC(health and beauty care)商
品の中国販路創造を目的として、杭州市において浙江美集成百貨有限公司を共同
創業し、ドラッグストア事業開発を行う。

2011年9月に帰国後、(株)マツモトキヨシホールディングスにて初の海外事業開発に着
手し、タイ・台湾の合弁事業を実現。

2017年、HBC領域を中心として新規事業・海外事業開発を支援する当社を創業し、
大手流通業、製造業、技術シーズを有するスタートアップ企業のサポートを行っている。

『HBC分野における日本・アジアマーケットの知見を軸に、日本発技術シーズの事業
化シナリオ策定、ビジネスモデル構築、販路開拓等のサポートを通じて、企業様・起
業家様に貢献していきたいと思っております。』

中川 卓也

株式会社アカデミック・ギャングスター 代表取締役



1983年京都大学卒業。

事業会社を経て、主に複数の外資系投資銀行に勤務。

- ・キダー・ピーボディ証券 (GEキャピタル) 外国株式部
- ・バークレイズ証券 キャピタルマーケット部 ディレクター
- ・HSBC証券 資本市場部門 マネージング・ディレクター
- ・みずほ証券 グローバル投資銀行部門 事業開発総括部長
- ・ネスレ日本株式会社 総務人事本部人材・組織開発部長
- ・プルータス・コンサルティング エグゼクティブ・ディレクター 等を歴任。

グローバルマーケット、M&A、デット/エクイティファイナンス、デリバティブ金融複合商品、ストラクチャードファイナンス・セキュリティゼーション、PE・ヘッジファンドの資金調達、IR・コーポレートガバナンスアドバイス、組織・人材開発プログラム企画実施、などに従事。

事業会社、金融機関、スタートアップなどの法人に対して、事業戦略、資本・財務政策、資金調達、アライアンス、ガバナンス、人材組織戦略へのアドバイスにより顧客の企業価値向上に携わる。

中村 智幸

MedVenture Partners株式会社 パートナー



学院修了後、オリンパス株式会社に入社。主に画像処理、撮像/表示系の基礎技術開発に従事し、多数の特許を出願。また在職中に東京工業大学への研究派遣、欧州でのデジタルカメラのマーケティングも経験する。

米国のビジネススクール卒業後、キャリアを方向転換し、三井住友海上キャピタル(株)にて、キャピタリストとして主に技術系ベンチャーへの投資を行う。また在職中(株)デジタルメディアプロフェッショナル(2011年6月マザーズ上場)の社外取締役も務める。その後、プロジェクトマネジメントのコンサルタントとして約4年半ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)に常駐し、日本市場への新製品導入プロジェクトや新製品開発プロジェクト、買収後の統合プロジェクト(Synthes, Micrus等)、売却事業の移管プロジェクト等の支援を行う。

MedVenture Partners参画後は、(株)Biomedical Solutions(監査役)、SonoCore(株)(代表取締役)、PaMeLa(株)、ABK Biomedical Inc.、(株)マリなどを担当し、特にアーリーステージ企業への投資とハンズオン支援を中心に行ってきた。

医療機器業界でのプロジェクトマネジメント、ベンチャーキャピタルでの投資、メーカーでの研究開発と幅広い業務の経験を有する。

西田 健一

元(公財)ヒューマンサイエンス振興財団 技術主幹



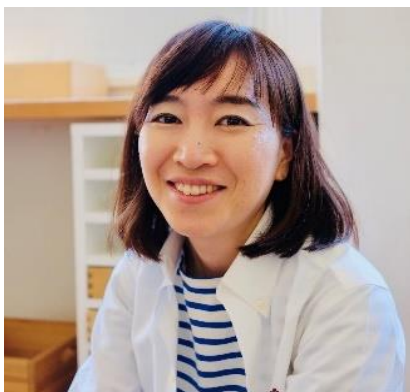
第一製薬(株)及び第一三共(株)にて、循環器代謝疾患及び脳神経系疾患に対する、革新的な創薬探索研究の実践とマネジメント、さらに研究開発企画部門にて、主にアカデミアとの協同を加速するオープンイノベーションの企画マネジメントに携わる。その間に、創薬技術に関連するベンチャー企業の役員を務め、ライフサイエンスの事業化振興に寄与してきた。(公財)ヒューマンサイエンス振興財団では、国内外の革新的な研究開発技術の調査業務に携わる。

東京大学農学部卒、同大学院農学系研究科卒(農学博士)

(自己PR:循環器・血管疾患及び脳神経疾患に対する創薬研究歴が長く、これらの経験を活かした活動や、産学連携プログラムへの経験スキルを活かした、ライフサイエンス案件のイノベーション活動に貢献ができると思います。)

根本 藍

国立研究開発法人海洋研究開発機構



理学修士修了、科学技術振興機構(JST)で地域の産学官研究開発プロジェクトや技術移転支援を担当。

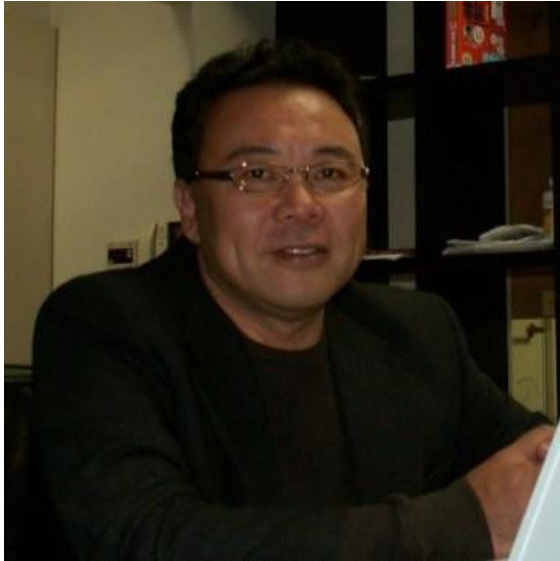
退職後Boston University School of Management Graduate diploma in Entrepreneurial Management修了、Boston大学や連携機関との社会課題解決のための大学発技術の商業化プロジェクトに参画、事業計画策定や市場調査担当。

帰国後自治体ベンチャーインキュベーションで産学連携コーディネータとして、ものづくり、バイオ系企業への産学連携や販路開拓支援。現職は研究成果の権利化、ライセンス、知的財産業務及び研究契約等全般、機構発ベンチャー起業支援等。

宇宙ビジネスコンテストS-Booster2019、2020等ビジネスコンテストでメンター担当。平成29年度NEDO Technology Startup Supporters Academy(SSA) 第1期修了、NEDO SSAフェロー。

野口 弘行

KACG Inc. Silicon Valley Based Consulting Group マネジング ディレクター



MS Electrical Engineering, Technological Institute, Northwestern University
MBA, Finance, Marketing, Strategy, Kellogg Graduate School of Business,
Northwestern University
Guest Lecturer: UC Berkeley, University of Michigan, Kent Law School

日米のスタートアップのグローバル戦略ストラテジスト。日米の投資会社、企業の投資部門、新規事業開発部門への経営戦略の構築及び 実行支援、米国VCの依頼により、投資対象の起業、起業後、戦略的提携の支援及び合弁会社のマネジメントを1990年より日米で経験。数多くの企業(売上10-100億円)の会社のコンサルティングを手がけている。また、米国知財訴訟におけるExpert Witness(専門家証人)として、経済的価値を分析、証言の経験あり。ライセンスや新規技術の経済的価値の分析をもとに戦略の構築なども多数経験している。UC Berkeley、U of Michigan、Illinois Institute Technologyなどで教壇を取った経験もある。

<https://blog.goo.ne.jp/hiroyukinoguchikacg>

野添 聡

株式会社日本医療機器開発機構 薬事・品質保証部 シニアマネージャー



東北大学大学院工学研究科修了

卒業後、ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)に入社し、医療機器の薬事として約5年半で20品目以上の新製品の承認・認証を取得。特にデザインから関わった国内治験では、その治験成績を使用して3つの適応が異なるクラスIV製品の承認を取得。また、Quality & Regulatory Compliance部門にて、Globalと連携したQMS改善、ERP入れ替えなどの業務にも精通。

(株)日本医療機器開発機構(JOMDD)では、医療機器や体外診断用医薬品の薬事・品質保証業務に加え、規制観点を勘案した事業開発業務にも従事。

2019年より(株)Save Medicalの取締役COOを兼務し、スタートアップ経営メンバーとしてDigital Therapeutics (DTx)の開発業務にも従事。

能登 左知

株式会社カピオン 取締役



IM(インキュベーションマネジャー)として(独)中小企業基盤整備機構と東京都中小企業振興公社の起業支援の現場にて創業支援に過去10年間携わる。
2011年(株)カピオン設立。

曾我弘氏と資金調達を目指すスタートアップ向けに支援プログラムを提供する。
2016年からNEDO事業カタライザー就任、TCP,STSスタートアップ対象に資金調達支援を行う。著書「新版シリコンバレー流起業入門」(同友館2013)、「シリコンバレー流CXOチームビルディング」(同友館2015)。得意分野はマーケティング、資金調達を目的とするプレゼンテーションの資料作成である。英語/日本語のプレゼンテーションアドバイスを過去多数通算2,000件実施する。

美大出身なのでグラフィックデザインスキルが高い。「私は技術系出身ではないので技術のことは詳しくありませんが、表現のプロです。伝えにくい技術についてわかりやすく表現する方法を具体的にアドバイスしたいと思います。」

Kansas City Art Institute, BFA学士インダストリアルデザイン学科卒業。

橋本 英重

ミッドメディア有限会社 代表取締役・ビジネスプロデューサー



2000年、早稲田大学 大学院国際経営学(MBA)終了。
大学発ベンチャー起業として、起業家教育プログラムを提供に従事し、中小企業長官賞を受賞。
早稲田大学インキュベーターマネージャーに就任。大学発ベンチャー起業の店頭公開を指導。

コーポレートベンチャ等の新規事業の立ちあげ、科学技術の事業化サポートなど、事業の立ち上げに多く携わる。専門はスタートアップ事業のプランニングと実務。現場に入り、ハンズオン型の起業を得意とする。

現在、JTB総合研究所の客員研究員として、地域活性化、農泊等に関する調査、コンサルティングをおこなう。また、株式会社情報センター出版局の多言語コミュニケーションツール「指さし会話」をインバウンド向けのコミュニケーションプログラムとしてプロデュースし、コンテンツからの事業開発も行う。事業開発をする組織とその環境、実務運営についての課題と解決を「現場」を通じておこなう。

主な研究分野としては、イノベーション、事業創造を実現するための実践的な「組織論」の構築と実用を目指し、知識創造論の「場」の理論をベースとした「場」の構築について、大学院ビジネススクールの教授や関係者と実戦的理論の構築に従事。

廣川 克也

一般財団法人SFCフォーラム 事務局長 SFCフォーラムファンド ファンドマネージャー



1993年住友銀行(現三井住友銀行)入行。1998年通商産業省出向、債務保証審査事業、全国新規事業発展基盤調査事業、起業家精神涵養教材開発事業等に従事。

2000年7月銀行復帰、成長企業取引推進担当となり、ベンチャー企業、株式公開志向企業に対する将来性評価による融資業務を担当。2004年1月同行退職、同年2月より北海道大学知的財産本部着任。2005年12月より慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスインキュベーションマネージャーとして着任、起業家に対する事業計画作成、資金調達、販路拡大支援等を実施。2008年4月よりKIEP研究コンソーシアム事務局長を兼任。海外学生ビジネスコンテストにアドバイザーとして参加、2009年、2010年にはGlobalTic@台湾でアジア最優秀賞、2009年I2P Global Competitionではチームを世界一に導く。

2012年より一般財団法人SFCフォーラム設立、事務局長就任。2017年よりSFCフォーラムファンド設立、ファンドマネージャー就任。山形大学客員准教授、(株)キングジム社外取締役など兼任。

船橋 保弘

ブリッジボート 代表



ブリッジボート 代表
スタートアップ企業 顧問
名古屋大学未来エレクトロニクス創成加速DII協働大学院プログラム メンター

(略歴)

1981年株式会社ブラザー工業入社。国内外向けの事務機器の新製品開発に従事。1989年より新たな通信事業プロジェクトに参画し、1992年業界初の通信型カラオケ“JOYSOUND”をリリース。1996年JOYSOUND運営会社の株式会社エクシングに転籍。事業開発に従事し、2006年には日本アジア投資株式会社とCVCを設立し、多数のスタートアップ企業に投資を実行するとともに、ハンズオン、協業推進を行った。2016年から3年間NEDOにて、スタートアップ支援プログラムに関わるとともに、多くのスタートアップを担当、支援を行った。2020年よりブリッジボートの代表として、スタートアップの支援業務に従事している。

一貫して、新規事業開発を担当してきた実績と、15年以上CVCやNEDOの活動を通して行ったスタートアップ支援の経験を生かして、NEP事業者の価値向上のため頑張りたい。

堀内 公博

堀内総合会計事務所 代表

【略歴】

大手監査法人、大手金融機関、中小メーカー勤務等を経て、現在堀内総合会計事務所代表。

その他、事業引継ぎ支援センターコーディネーター、中小機構経営支援アドバイザー、金融広報委員会金融広報アドバイザー、大学非常勤講師なども兼務。

【実績等】

創業時の資金調達提案(銀行交渉)や事業計画策定から、IPO時の内部管理体制の構築・改善支援

事業引継ぎにおいて、既存の経営資源を活用した新規事業の提案、事業化に至るまでの様々なサポートを行う、ベンチャー型事業承継の支援
中小企業のM&A等による異業種への新規参入の際、新たな商品提案(別企業とのマッチング含む)、国内外の新規販路開拓の支援

その他、国内外の工場の原価管理・原価計算の構築・改善、メーカー勤務時に海外子会社管理、大手金融機関の中国現地法人設立メンバー(主計部代表)、中国にて、現地日系子会社の設立、会計・税務、外貨送金、資金調達の支援M&Aのマッチング、デューデリ、株価算定、PMIの実施



堀内 健后

トレジャーデータ株式会社 マーケティング担当シニアディレクター



トレジャーデータの日本法人設立当初の2013年2月より日本の事業展開に従事しており、PRからマーケティング、事業開発まで担当している。

トレジャーデータ以前は、プライスウォーターハウスクーパースコンサルタント株式会社(現 日本アイ・ビー・エム株式会社)にて、業務改革、システム改革のプロジェクトに参画。

その後、マネックスグループにて、顧客向けWebサービスの企画・開発のプロジェクトマネージャーを担当していた。外資企業から日本企業、大企業からスタートアップ、など幅広い環境で幅広くキャリアを経験している。

本藤 孝

QB Capital合同会社 代表パートナー



外資系大手コンサルティング会社にて、IT及びマネージメントコンサルティングに従事し、数々のプロジェクトに携わる。その後、大手ベンチャーキャピタルにてヨーロッパ、イスラエルへのスタートアップ投資を行う事業部の立ち上げメンバーとして参画する。

フランスのベンチャーキャピタルへの出向などを含め、数々のスタートアップ投資を実施し独立。ベンチャーキャピタルのFGCを創設し、55百万ドル(約65億円)のファンドを組成。同社の代表パートナーに就任し、国内外への投資に関わり、投資先の取締役を歴任。会社設立以前から相談を受けるなど徹底したハンズオンを実施。

シード段階からの出資も手掛け、投資先数社のファウンダーメンバーとして創業し経営に参画。主に九州の大学関連の案件(共同開発を含む)、及び九州出身者など九州に関連した案件に投資を行うQBキャピタルを創設し、QBキャピタルの代表パートナーに就任。30億円のファンドを組成した。20年以上にわたりスタートアップへの投資を行っている。

Eastern Michigan University BBA in Marketing卒 同大 MBA in Finance修了

前田 信敏

NV Ventures株式会社 代表取締役社長



早稲田大学政治経済学部経済学科卒業、早稲田大学大学院商学研究科 ビジネス専攻修了 (MOT/MBA)。大和企業投資株式会社、ウエルインベストメント株式会社勤務を経て、2019年NV Ventures株式会社を設立。新エネルギー・産業技術総合開発機構事業カタライザー、文部科学省・大学発新産業創出拠点プロジェクト事業プロモーター、内閣府技術委員・アドバイザー、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構イノベーション委員会委員等を歴任。大学発を中心とする研究開発型スタートアップの支援に注力している。

自己PR

『大学発スタートアップをはじめとする、革新的な技術力を持つ、シード・アーリーステージの研究開発型スタートアップに対する事業支援を長年行なっています。ベンチャーキャピタルの経験を活かした資金調達支援や、経営戦略立案支援が得意です。革新的な技術を活かし、スタートアップを立ち上げたい研究者や起業家の方の良きパートナーとして、会社立ち上げやシード資金の調達等のご支援をしたいと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。』

松田 一敬

合同会社SARR 代表執行社員



デジタル地域通貨プラットフォーム提供のDigitalplatformer共同創業者兼取締役。世界標準のブロックチェーン開発のソラミツ共同創業者。産科遠隔診断のメロディー・インターナショナル取締役。

2000年、北海道にて日本初の地方独立系V Cである北海道V C設立。バイオ、遠隔医療、自動運転&新交通システム、環境等のスタートアップを支援。我が国の大学発ベンチャー第1号の設立、大学発ベンチャー上場第1号を手がける等大学等の研究成果の事業化と地域活性化を得意とする。

2011年SARR設立、京都にてKRPと共同でアクセラレータ運営。DSファーマ・アニマルヘルス(株)と新規事業探索プログラムを運営(<https://sarr-llc.com/ah/>)。シリコンバレー・イスラエル・インド・フランスを拠点とするBenhamou Global VenturesにてJapan Advisory Partner。

神戸大学科学技術イノベーション研究科客員教授、文科省国立研究開発法人審議会委員。JST・RISTEX「科学技術イノベーション政策のための科学」プログラム・アドバイザー。NEDO技術員・TCP審査員、JAXA s-boosterメンター、総務省SCOPE審査員・メンター、SMBC未来アドバイザー等を務める。

慶應大学(経)、INSEAD(MBA)、北海道大学(医学博士)。

<https://sarr-llc.com/> <https://digitalplatformer.co.jp/>

眞鍋 亮子

一般財団法人エンデバー・ジャパン マネージングディレクター



【略歴】

米系戦略コンサルティングファーム勤務後、米系製薬・医療機器会社の経営企画部に勤務、全社営業・マーケティング改革等のプロジェクトをリード。

その後、スタートアップに参画、一部門の立ち上げを行う。立ち上げた部門を売却後、PwC PRTM(現PwC Strategy&)に入社、コンサルティング・マーケティングに従事。

2017年5月より世界最大級の起業家支援ネットワークでもある国際的NPO Endeavorの日本オフィス、Endeavor Japanの立ち上げに参画。コーネル大学工学部、農学・生命科学部卒業

エンデバーについて

1997年に設立以来、約20年で37拠点・59都市に活動地域を拡大し起業家支援とエコシステムの構築をサポートし。2017年までに創出した雇用は140万人、また支援企業が2017生み出した利益は150億ドルにも上る。

エンデバーの日本拠点であるエンデバー・ジャパンは2017年3月から活動を開始、主に日本のスタートアップが海外で展開できるよう支援、またエコシステムの構築を行っている。

南方 郁夫

クラウド・テン株式会社 代表取締役



大阪大学 基礎工学部 情報工学研究科修了。

パナソニックで約30年間勤務。その間、本社R&D部門においてソフトウェアの研究・開発の責任者としてパソコン、EWS、ワープロ、デジタルTV、携帯電話などの事業化立ち上げを主導。国際標準化、国際コンソーシアムの創設やボードメンバーの経験も多数(DLNA、CE Linux Forum、Java Community Process、Marlin DRMなど)過去3回、合計8年間にわたってシリコンバレーでの駐在経験。

- ①UCバークレー EECS 客員研究員
- ②バークレーでの人脈がきっかけとなってシリコンバレーのスタートアップとEWS向けソフトウェアの共同開発
- ③米国パナソニックR&D会社のプレジデント。その間に、シリコンバレーでクラウドを活用したオンラインゲーミング事業を行う社内ベンチャーをシリコンバレーのリソースのみを使って起業

2011年末にパナソニックを退職してクラウド・テン株式会社を創業。シリコンバレーの経験と人脈を活かして日本企業の新規事業創出やシリコンバレーの企業の日本戦略のコンサルティングを行うとともに、独自のクラウドサービスの開発、事業化に取り組んでいる。

宮松 寛有

KAHMジャパン株式会社 代表取締役社長



2014年6月KAHMジャパン株式会社を設立。同社代表取締役社長。

- オックスフォードユニバーシティイノベーション日本事務所・アソシエイトコンサルタント
- 大阪商工会議所コーディネータ
- 一般財団法人ニューメディア開発協会コーディネータ
- Dearman社シニアアドバイザー
- Nomad Digital Japan Office日本代表。
- 一般財団法人 SDGs普及協会 評議員
- ライフサイエンス分野を事例とした関西への対日投資促進研究会 委員

2007年英国総領事館上席商務官に就任、英国最先端の技術をパナソニック、シャープ、JR西日本、関西電力、京セラ、村田製作所等へ紹介、先端英国企業の日本参入支援2006年コグノス社（カナダのビジネスインテリジェンスソフト企業、現IBM）にて金融、製薬、流通業向け経営情報管理システム提案営業

1990年松下電器産業（株）として米国Sequent Computer Systems社と松下グループ初の米国企業との販売合弁企業を設立、革新的な並列処理技術と松下グループのソリューションを基盤にオープンシステムの市場を開拓、及び文部科学省の衛星情報通信ネットワーク基盤構築、国土交通省のアクティブタグ（米国国防総省、英国防衛省で採用）を活用したコンテナセキュリティ実証実験、電子ペーパーを採用した日本初の電子書籍のプロジェクトの技術マーケティング支援。海外ソリューションビジネス展開、ビデオ技術を活用したスポーツコーチング、デジタルサイネージ、監視システムのプロジェクト推進

1985年松下電器貿易（株）で海外最先端技術を調査導入1978年バロース/現ユニシス（株）入社、汎用コンピュータシステムを販売

向林 隆

株式会社アイティーファーム 執行役員 ジェネラルパートナー

立教大学 理学部 物理学科卒業

1982年、日本電気株式会社入社。半導体部門の応用技術者として、世界初の音声認識LSIおよび音声合成LSIの事業化に従事。新規事業開発担当として海外の戦略パートナー企業との協業をコーディネート。

1991年より米国子会社に赴任。マイクロプロセッサ部門の戦略企画責任者の立場で、シリコンバレーのスタートアップ企業への出資、シナジーを活かした共同事業を推進。スタートアップ企業を利用したイノベーション推進の重要性を認識した。

2002年より現職。ベンチャーキャピタリストとして、世界ベースで研究開発型スタートアップ案件の発掘、創業資金の出資をすることに加え、重要想定顧客との事業提携、営業支援、人材調達など、ポートフォリオ企業の事業立上をあらゆる角度から支援できることが持ち味。近年はコンサルタントとして国内大企業における新規事業立ち上げ支援、海外スタートアップとの提携を推進する案件も手掛けている。



宗像 令夫

株式会社PQM総合研究所 代表取締役



東京工業大学院機構工学専攻修了

3Mジャパンを経て(株)リコーにてデジタルカラーMFPを研究開発から主力商品に育成、事業部長として基幹事業を統括。リコーテクノロジーズ(株)常務取締役としてメカトロニクス系新規事業育成を主導。

(株)PQM総合研究所を設立し、認定支援機関として新規創業から事業化・収益化までをコンサルティング・サポートする傍ら、独立行政法人中小企業基盤整備機構関東本部よりチーフ・インキュベーションマネージャーの委嘱を受け、大学発スタートアップの事業化ハンズオン支援を行う。

スタートアップ型創業支援スクール(千葉大学、千葉市後援)主任講師

千葉大学VBL(Venture Business Laboratory)メンター

NEDO SSA(Technology Startup Supporters Academy)フェロー

著書「生産革命のためのプロジェクト型品質マネジメント手法PQM」他3冊

森 清華

株式会社Career Creation 代表取締役



早稲田大学政治経済学部卒業

2004年日本アジア投資株式会社に入社後、ベンチャー投資・経営支援、国内通信機器メーカーとの共同ファンド(CVC)運営、管理部門にてIRや予算管理などを経験。2013年に独立、ベンチャー企業の経営管理・労務・人事など管理体制の構築支援を行うとともに、独立系VCのK&Pパートナーズ株式会社の創業メンバーとして、大手企業とベンチャー企業間の事業連携支援など、企業の成長支援に従事。

2015年よりキャリア支援を開始。現在、人と組織の自律的な成長を後押しするためのキャリア開発・人材育成事業を展開。法人向けキャリアコンサルティングおよび教育研修、組織コミュニケーションデザイン支援、イノベーション人材育成メンタリング等を実施。また、最前線で活躍する経営者を中心に、人のキャリアをテーマとしたラジオ番組の運営・パーソナリティを行っている。

VCでの投資・支援経験や、キャリアコンサルタントの専門性を活かしながら、起業家の方々に寄り添うパートナーとして、未来の創造に向けてともに歩んでまいりたいと思っております。

フォレスタリサーチ & コンサルティング株式会社

代表取締役社長

森公認会計士事務所 代表

森 雅司



大手監査法人にて監査を経験後、会計事務所設立、M&Aコンサルを経てIT系事業会社にて内部監査に従事。現在は、内部監査業務受託、業務改善コンサルティング、資金調達支援から会計・税務業務まで幅広く実施する。

2018年度国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)が実施した研究開発型ベンチャーの支援人材を育成する高度専門支援人材育成プログラム「Technology Startup Supporters Academy(SSA)」を修了。

2020年10月、SDGs支援・新規事業支援の新会社設立。

高校生向け起業教育「DECA JAPAN」メンター、「ハロー！会計」(小学生～高校生に会計の大切さ・面白さを伝える会計士協会のボランティア活動)など教育活動も実施中。ドラッカー学会理事、社会福祉法人厚生会監事も努める。

東京都江戸川区生まれ。早稲田大学商学部1998年卒業。

八重樫 馨

i-BuC LLC CEO & President



ドイツの3大化学企業(Hoechst, BYAER, BASF)の一つヘキスト社(Hoechst, 現在、医薬部門は、Sanofi社、スペシャリティケミカルは、Clariant社、基礎化学は、Celanese社とし、それぞれ独立。)で、新事業開発、半導体用フォトレジスト(AZ Photoresist)の国産化、半導体製造用関連機器事業(Hewlett-Packardの技術を買収。)の立ち上げ、国産化、日本企業との共同事業設立等を行う。

その後、リチウム電池用セパレーター、人工心肺用中空糸、水処理用脱気膜の3事業部門を持つ米国Celgard Inc. (Polypore International Inc.へ社名変更を経て、後にセパレーター事業は旭化成、他は3Mに売却。)のマネジメント・チームとして経営に参画、日本法人セルガード株式会社設立、同社代表取締役社長兼務。リチウム一次電池向けセパレーターは当時世界一位、リチウム二次電池向けは世界二位の規模となる。世界最大の鉛電池用セパレーター企業Daramic Inc. をセルガードグループに迎え、同社のアジア・太平洋統括や、同グループ中国現地法人 Battery Separator Shanghai Co., Ltd. の取締役も兼務する。

2006年、シリコンバレーのナノテクベンチャー企業NanoGram Corporationの上席副社長および同日本法人ナノグラム株式会社の代表取締役社長に就任。無機系ナノ材料の事業開発においては、主にプリントエレクトロニクス分野、光学素子分野、また化合物系半導体用材料としての事業開発を行う。パナソニック、シャープ、帝人、DNP、リコー等の日本企業とも共同研究を進めナノ材料の商業化に貢献。同社を帝人株式会社へ売却後、帝人の依頼により、帝人グループのメンバーとしてシリコンバレーで同社の経営に携わる。

2010年に、日本の産業創成を少しでもサポートすべく、大手企業の新事業創造やベンチャー企業支援のために仲間と共にi-BuCを設立しCEO & President に就任する。
その他、求めに応じて、神戸大学経営学部や東京農工大学大学院工学府で非常勤講師を務める。2016年よりTCPのメンター。

安友 雄一

オフィス エイトックス 代表



昭和56年3月北海道大学大学院工学研究科原子工学専攻博士後期課程修了（工学博士）

昭和56年4月ブラザー工業株式会社入社。

昭和58年4月ブラザーの新規事業としてニューメディア領域の探索を開始。

昭和61年5月パソコンソフト電子流通システム「ソフトベンダータケル」を社内ベンチャーとして立ち上げ収益化に成功。

平成4年5月ベンチャー事業立ち上げのために株式会社エクシングを設立（カーブアウト）し、代表取締役就任。通信カラオケ「JOYSOUND」を立ち上げ、成功させる。以降、エクシングでは、携帯電話向け着メロ（ポケメロジョイスOUND他）等のコンテンツビジネスを推進積極展開し、今日の B2C コンテンツデリバリー事業の草分けとなった。平成15年4月ブラザー工業にてグループ横断の新規事業／ベンチャー投資事業をスタート。

平成18年1月ブラザーグループ CVC（JAIC ATOP）を組成・運用し、高いパフォーマンスを達成。

平成25年2月ブラザー工業定年退職。引き続きブラザー工業グランドマスター就任し、ブラザーにおける新規事業を担当する。

平成26年8月NEDO技術委員。

平成30年2月ブラザー工業グランドマスター退任。

平成30年4月オフィス エイトックスを設立。スタートアップ支援事業推進。

柳原 暁

Willsame株式会社 取締役



IT系企業を経て、スタートアップの立ち上げを経験。「Gamechanger's Studio」をコンセプトに掲げるイノベーションスタジオEDGEofにて、スタートアップや研究者、クリエイターといったイノベーターエコシステムをつくり、イノベーションを創出するハブとなる活動に事業統括として従事。大手企業、地方自治体とスタートアップの協業支援に従事。50社以上のスタートアップの事業開発支援、資金調達支援を行う。

大学発スタートアップの事業化並びに、知財、法務、資本政策に関する企業体強化の支援を通し、科学技術の社会実装に邁進するWillsame株式会社にて取締役を務める。

山田 竜也

株式会社インディージャパン
代表取締役テクニカルディレクター
INDEE Singapore Pte. 取締役



【支援内容&スタイル】

本プログラムに応募する方は、ユニークな技術や製品コンセプトを持っている方が多いと思います。そのユニークさを私自身のエンジニアとしての経験も活かしながら正しく理解する事から始めたいと思います。その上で、今度は顧客側の目線で見たらどんな価値があるか、誰がその価値を喜んでくれるか、顧客訪問やインタビューを繰り返しながら一緒に顧客を発見していきます。顧客への価値提案が定まったら、それをビジネスにするためのビジネスモデル作り、そして、ビジネスを具現化するための出口戦略(企業からの出資や業務提携、会社作り)等、顧客の発見から事業化までの一連の流れで各フェーズに合わせた支援をしていきます。大企業との接点も多いので、製造や販売のパートナー等でWIN/WINな関係作りも模索していきます。過去の経験からのアドバイスだけでなく、私自身、最先端の未知の領域を学びながら、価値あるものを世の中に普及させる仲間として協働していきたいので、まずは気軽にご相談ください。

【略歴&実績】

電気通信大学 機械制御工学専攻卒。航空宇宙技術研究所(現JAXA)にてカオス理論を用いたCFDコード開発に従事。電通国際情報サービスにて各種製造業のR&D部門向けに構造・振動・流体等の受託解析を行う。R&Dに特化したコンサルファームiTiDにカーブアウトし、電動工具、複写機、半導体製造装置等の製品開発支援を製品コンセプト作りから、開発、試作、評価、初期流動まで一貫して行う。その後も大手製造業のR&D部門を対象としたコンサルティングを行い。大企業における製品開発の進め方の力学を理解し、製品開発を支援するファシリテーターとしてプロジェクトを支援する。インディージャパン 創業後は、イノベティブな新規事業をテーマに、金融、メディア、通信キャリア、医療サービス、エネルギー等にも範囲を広げ、顧客開発やオープンイノベーションを支援している。

海外旅行好きで世界60カ国以上を巡る。妻と子供の4人家族で現在バックパッカーは休業中。

山本 辰久

ボーダレス・プランニング株式会社 代表取締役



境界にこだわらないボーダレスな視点から、医療、運輸、食品、製造、環境関連業界などで、新規事業計画立案・海外進出支援とともに、経営幹部育成に取り組む。最近ではNEDO(TCP)、大手銀行グループ、電力会社、関西財界傘下組織等のスタートアップ支援プログラムにて、メンターを担当。

京都大学大学院工学研究科交通土木工学専攻修了。
ボストン大学大学院都市計画学科修了(MCP)。横浜市役所都市計画局勤務の後、株式会社日本総合研究所で公的機関の主要計画立案・改革支援、企業の中期経営計画策定などとともに、ビジネスモデル特許申請も経験。この間、神戸大学大学院経営学研究科助教授として出向。

吉川 正晃

株式会社 Human Hub Japan 代表



元:大阪市経済戦略局理事(民間公募採用)。大阪市のイノベーション行政全般に携わる。大阪イノベーションハブ創立メンバーの一人であり責任者。

民間時代は、大手企業内のIT関連ベンチャー企業の経営や新事業開発を行い、国内外のベンチャー企業や大学・研究機関との提携も行う。マンチェスター大学、名古屋大学、東京大学などと共同で製品を開発し、大企業との販売提携実績がある。大企業とベンチャーとの連携を重視して活動中。

現在、阪急阪神不動産(株)、(社)日本スタートアップ支援協会、ベンチャー企業等の顧問を務める。Forbes(Japan)「88人のローカルイノベータ」(2017年)の一人に選出。

中小企業診断士。会社URL:<https://human-hub.jp>

(Key Words)産学官連携、大企業連携、医用画像処理、数値解析、HPC、海外進出、うめきた2期、人材流動化

渡邊 貴史

株式会社フィラメント 取締役 COO



日系大手ITコンサルティングファーム、日系PE、プレIPOスタートアップ、日米の会計系コンサルティングファーム等を経て、2019年6月よりFilamentに取締役 COO。その他、スタートアップの顧問/アドバイザーとして複数社の経営戦略支援(事業計画・資本政策・資金調達・営業・採用・労務・広報の各種支援)を行っている。

2019年5月 中小企業庁 スマートSME研究会委員

2022年1月 沖縄ITイノベーション戦略センター(ISCO) アドバイザリーフェロー

渡邊 安弘

Seed Technology Capital Partners 代表



慶應義塾大学環境情報学部卒業。

日本合同ファイナンス(現ジャフコ)投資部にて投資活動を行う。その後、アイエヌジー生命保険(現エヌエヌ生命)を経て、2000年2月 独立系VCファンド、インキュベイトキャピタルパートナーズ(現インキュベイトファンドの前身)設立、情報通信関連のシードステージに特化した投資を行う。主な投資先はファンコミュニケーションズ、オーブンドアなど。

2007年2月に自然言語処理と機械学習に特化したStudio Ousiaを共同創業。

独立系ベンチャーキャピタルファンドの運用歴20年。企業の創業からIPO、M&Aまで一貫して行なってきた経験を多くの将来性ある起業家に提供し支援させていただきたいと考えております。